5 基本操作

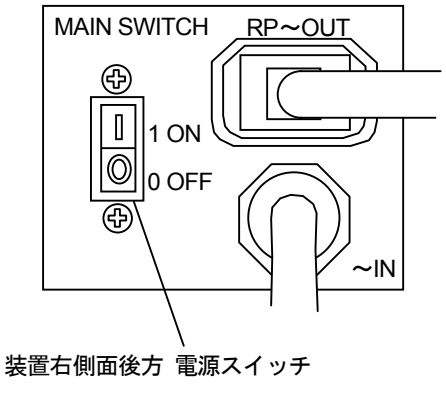
ここでは，装置の起動・停止，分析を始める前の基本的な操作について説明します。説明の中には，LCMSsolution ソフトウェアの操作に関する部分が含まれます。これらの詳しい内容については「LCMSsolution ソフトウェア取扱説明書」を参照してください。また，各 LC ユニットの操作についての詳細は各取扱説明書に従ってください。

5.1 装置の起動

5.1.1 電源の投入

(1) LC 各ユニットの電源スイッチを ON にしてください。
(2) LCMS-2010EV の電源スイッチを ON にしてください。
装置前面の LED（POWER）が，緑色に点灯し，LED（STATUS）が緑色に点滅します。
(3) ディスプレイ，プリンタ，パソコンの電源をそれぞれ ON にしてください。

注　記
各 LC ユニットおよび LCMS-2010EV の電源を ON にした後，パソコンの電源を入れてください。



5.1.2 真空系の起動

(1) LCMSsolution を立ち上げます。

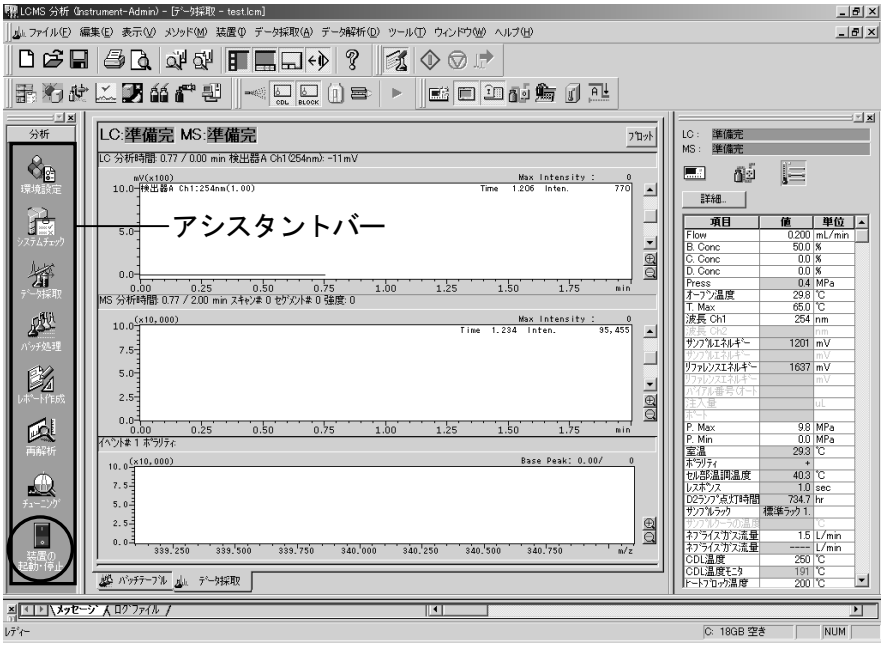
デスクトップ上の「LCMSsolution」アイコンをダブルクリックします。

ユーザ名「Admin」（パスワードはなし）でログインしてください。

＊） ユーザ名，パスワードは変更可能です。
LCMSsolution 取扱説明書を参照してください。

(2) シャッターが閉じられている事を確認してください。
（3.6 プローブホルダ参照）

(3) LCMS 分析画面のメニューから「装置」－「装置の起動・停止」を選択し，起動／停止ウインドウを開くか，アシスタントバーに表示されている「装置の起動・停止」アイコンを選択し起動／停止ウインドウを開いてください。



「装置の起動・停止」アイコンがアシスタントバーに表示されていない場合は

「トップへ」のボタンを押して画面を切り換えてください。

「自動起動」を選択してください。

自動起動開始後，1 時間程度で真空排気が準備完了となります。

（起動から準備完了までに要する時間は真空を停止していた時間, その他によって変化します。）

注　意

低温状態でのロータリーポンプの始動について

冬期など，装置の周囲温度が低い状態で長時間装置を停止した場合には，ロータリーポンプの油の粘度が高くなっています。

このような状態でロータリーポンプを始動するとモータに過負荷がかかり，装置や配電盤のブレーカーが作動することがあります。

このような場合は部屋を暖房し，ロータリーポンプの温度が 18℃（装置の設置環境温度）以上になってから真空系の始動を行ってください。

5

注　記

長期間装置を停止していた場合には真空排気に時間がかかり，所定の時間内に「準備完了」と表示されないことがあります。この場合，装置前面の LED（STATUS）は赤色点滅になりますが異常を示すものではありません。そのまま真空度が良くなれば「準備完了」となり，LED は緑色点灯となります。